

③日本人のルーツ

モンゴロイド＝黄色人種

(a) (縄文人)・・・更新世に渡来(日本全土に)

→目が大きく彫りが深い

(b) (弥生人)・・・弥生時代に渡来

→目は細く彫りが浅い (北海道・沖縄には達しない)

④日本人の化石人骨

(a) 人(静岡県浜松市)・・・ 段階の人骨

(b) 人(沖縄県具志頭村)・・・ 段階の人骨

※ 人(兵庫県)が原人段階と言われていたが、疑わしい

(2)旧石器時代人の生活

→狩猟と採取による生活

①文化の段階

〔	更新世	—	時代	—	石器
	完新世	—	時代	—	石器

(縄文時代)




②旧石器時代の遺跡

遺跡( 県)・・・ から打製石器を発見

→日本の旧石器文化の発見(1949年、)

### ③打製石器の発達

①打製石斧(撥斧, 撥槌, ハンド・アックス)




新島  
の松浦集  
団遺跡  
標本 No. A

握り處のみを磨く  
と鋭利になる  
用である。

**切る・削る**  
握り手に持つが、鋭い端をつける。動物を殺す、葉物を解体する、木を切るなどに使用した。

②ナイフ形石器




北沢 及川遺跡 C  
細石器類 標本 No. C

結玉  
砂川遺跡  
岩塚遺跡  
標本 No. B

**切る・刺す(槍先)**  
握り手に持つが、鋭い端をつける。肉や皮を切り取った。棒にコブで突き刺し、槍先として使用した。

③尖頭器(ポイント)




新島 式井遺跡  
岩塚遺跡 標本 No. E

青森 大平遺跡  
岩塚遺跡 標本 No. D

**刺す(槍先)**  
木の柄に取りつけて突き刺し、狩猟の中心として飛躍的に発達した。

④細石器(マイクロリス)



新島 式井遺跡  
岩塚遺跡  
標本 No. F

「刃石(マイクロリス)」

**刺す(槍先)** 細石器は細石とそれを加工したものであり、主に木の柄や骨に嵌め込んで組み立てられ、槍先として使用した。この細石器使用の時代を中石器時代ともいう。